おきぎん経済研究所
NEWS RELEASE
“地域のことは地域で考えよう

〒900-0013 那覇市牧志１丁目３番45号 ３階　電話（098）869-8711

各　位

株式会社　おきぎん経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2026年10月分）

◎県内景況は、拡大基調にある。

☆個人消費：スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を上回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数は前年同月を上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回る。

☆企業倒産：倒産件数は前年同月と同水準、負債総額は前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：上門、小嶺、永田　　[連絡先]　電話：098-869-8711　ﾌｧｸｼﾐﾘ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報（2026 年 10 月分）

◎おきぎん「カトレア」景況図



概況：県内景況は、拡大基調にある。

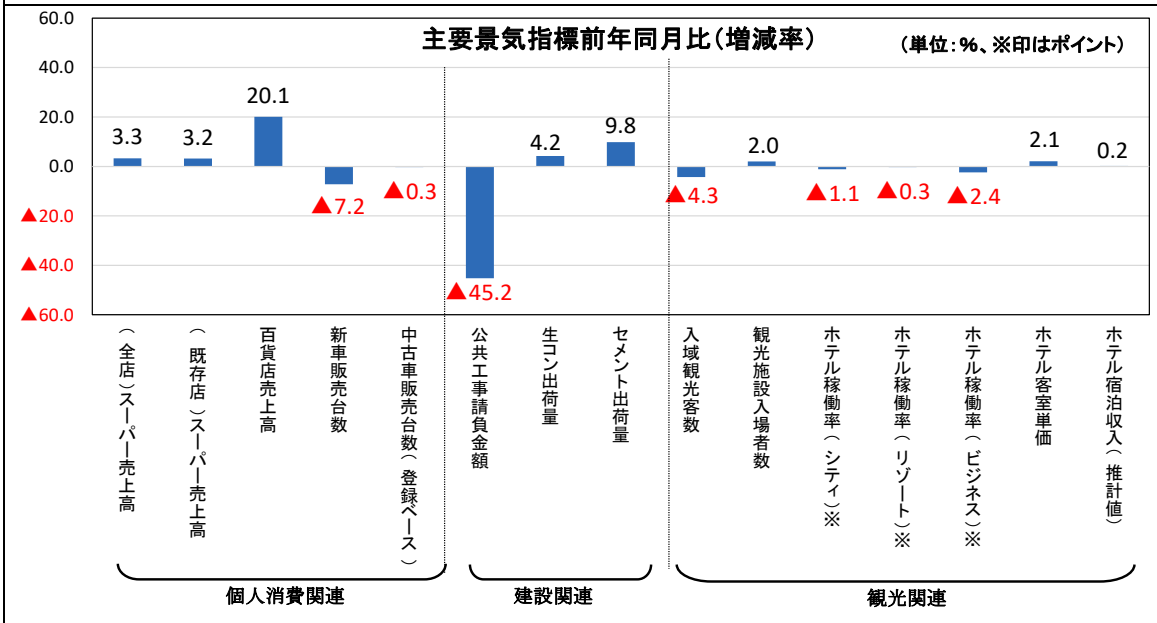
10 月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数はともに前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数は前年同月を上回りました。ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しているものの、一部に停滞感がみられます。建設は、弱含んでいます。観光関連は、拡大しています。よって、「県内景況は、拡大基調にある」と景気判断を据え置きました。

（2024 年 10 月の上方修正から 25 か月連続で判断維持）



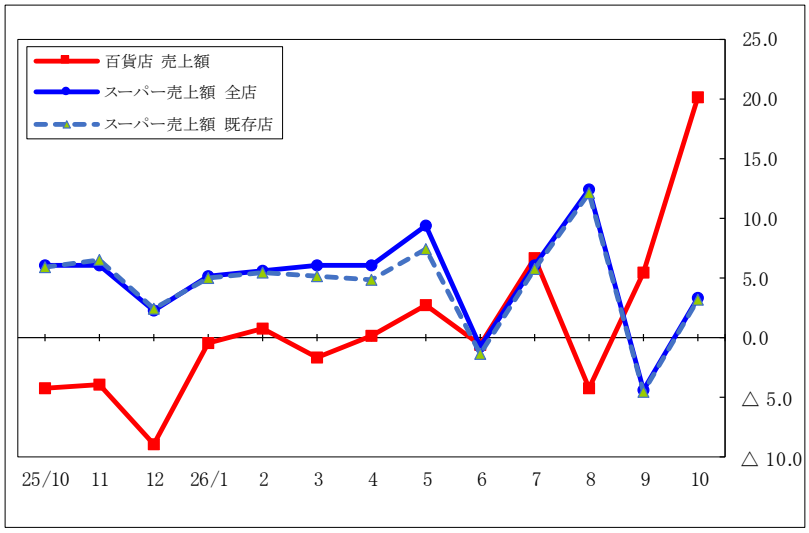
■個人消費：（やや良い）

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
25/10	6.0	5.9	△ 4.3
11	6.1	6.5	△ 3.9
12	2.2	2.4	△ 9.0
26/1	5.1	5.0	△ 0.5
2	5.6	5.4	0.7
3	6.0	5.2	△ 1.7
4	6.1	4.8	0.1
5	9.4	7.4	2.8
6	△ 0.8	△ 1.3	△ 0.6
7	6.1	5.7	6.6
8	12.4	12.1	△ 4.3
9	△ 4.4	△ 4.6	5.5
10	3.3	3.2	20.1

注）前年同月比



10 月の**個人消費関連**では、**スーパー売上高「全店ベース（前年同月比 3.3%増）」**は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同 2.2%増）」は、物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.1%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同 9.1%増）」は、前年同月を上回りました。

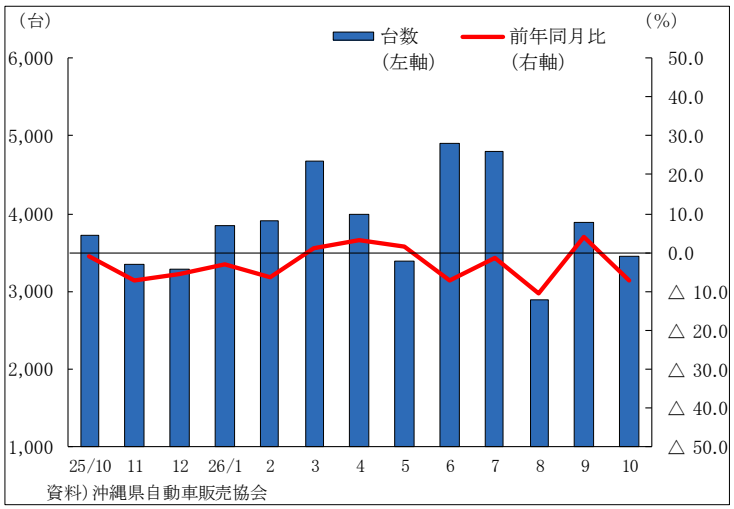
「既存店ベース（同 3.2%増）」は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同 1.9%増）」は、物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 8.5%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同 7.7%増）」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高（同 20.1%増）は、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同 24.7%増）」は、催事企画の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同 5.5%増）」は、前年同月を上回りました。「家庭用品（同 120.3%増）」は、催事企画の好調や新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨（同 8.1%増）」、「身の回り品（同 0.9%増）」は、前年同月を上回りました。全体の要因として、インバウンドを含む観光客の来店増加に伴い、免税売り上げが増加しました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

単位：台、％

	台数（左軸）	前年同月比（右軸）	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
25/10	3,728	△ 1.2	△ 3.4	1.7	△ 0.6
11	3,335	△ 7.3	△ 17.2	△ 3.1	△ 1.3
12	3,281	△ 5.7	△ 25.1	2.5	△ 0.9
26/1	3,840	△ 3.3	△ 15.8	△ 3.1	△ 3.1
2	3,903	△ 6.4	△ 14.5	△ 22.9	△ 1.6
3	4,678	0.9	2.9	△ 19.7	19.5
4	3,984	3.3	△ 9.3	28.4	△ 5.3
5	3,396	1.3	4.8	8.5	△ 3.2
6	4,909	△ 7.1	△ 16.8	4.5	△ 9.6
7	4,794	△ 1.6	△ 18.8	18.5	△ 6.6
8	2,885	△ 10.7	△ 6.0	△ 4.2	△ 19.4
9	3,877	4.0	△ 6.9	14.7	8.3
10	3,459	△ 7.2	△ 7.4	3.7	△ 13.3



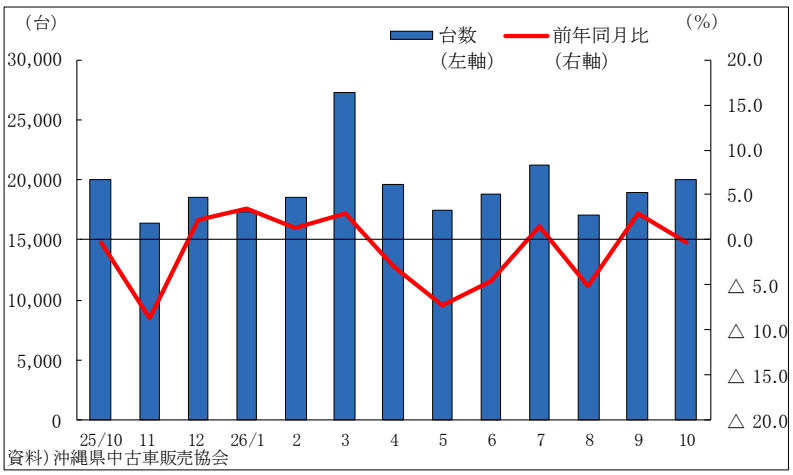
注）前年同月比
注）普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,459 台（同 7.2％減）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同 7.4％減）」、「軽乗用車（同 13.3％減）」は、ともに前年同月を下回りました。「小型乗用車（同 3.7％増）」は、前年同月を上回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

単位：台、％

	台数（左軸）	前年同月比（右軸）	乗用車	軽自動車
25/10	20,028	△ 0.3	△ 2.6	1.3
11	16,366	△ 8.8	△ 14.4	△ 4.8
12	18,588	2.2	3.6	1.2
26/1	17,326	3.4	2.7	3.8
2	18,593	1.3	△ 2.0	3.5
3	27,226	3.0	1.5	4.0
4	19,589	△ 3.0	△ 3.9	△ 2.5
5	17,533	△ 7.3	△ 8.4	△ 6.6
6	18,854	△ 4.6	△ 5.8	△ 3.8
7	21,234	1.5	0.8	2.1
8	17,010	△ 5.2	△ 6.3	△ 4.5
9	18,917	3.0	△ 2.6	6.9
10	19,972	△ 0.3	2.3	△ 2.0



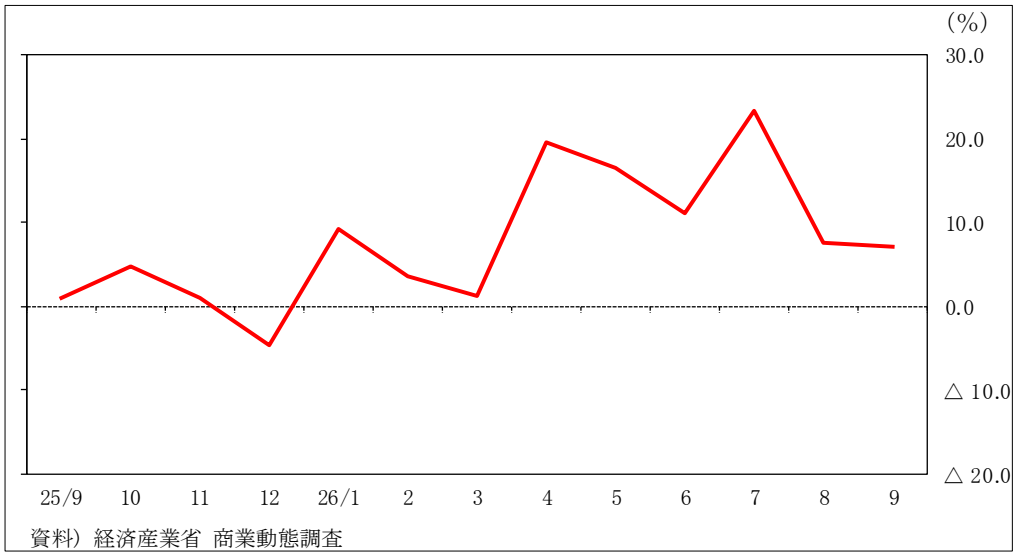
注）前年同月比
注）登録ベース

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で 19,972 台（同 0.3％減）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「軽自動車（同 2.0％減）」は、前年同月を下回りました。「乗用車（同 2.3％増）」は、前年同月を上回りました。

④ 【参考：９月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

単位:%

	販売額
25/9	1.0
10	4.7
11	1.0
12	△ 4.6
26/1	9.2
2	3.5
3	1.2
4	19.7
5	16.6
6	11.2
7	23.3
8	7.5
9	7.0



注）前年同月比

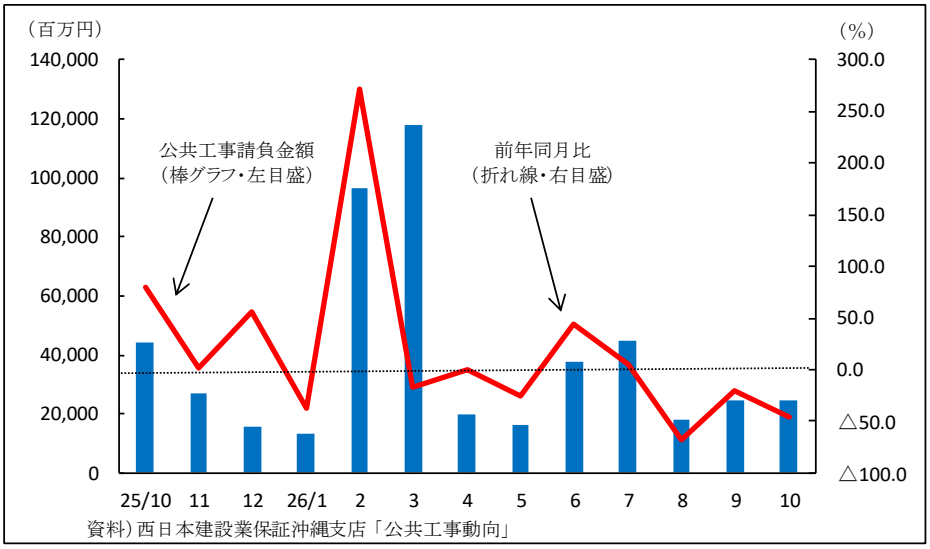
大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

■建設関連： （ふつう）

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位：百万円、％

	請負金額	前年同月比
25/10	44,324	80.0
11	27,096	1.6
12	15,752	56.6
26/1	13,220	△37.0
2	96,827	271.5
3	117,776	△17.0
4	20,043	△0.2
5	16,367	△25.5
6	37,884	43.8
7	44,755	4.7
8	17,738	△67.3
9	24,688	△21.1
10	24,304	△45.2

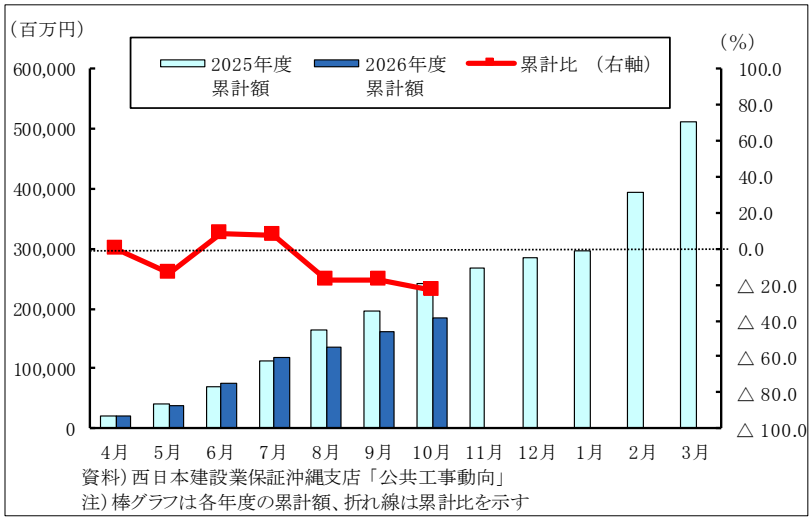


資料）西日本建設業保証沖縄支店「公共工事動向」

② 公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。

単位：百万円、％

	2025年度 累計額	2026年度 累計額	累計比 （右軸）
4月	20,078	20,043	△0.2
5月	42,046	36,411	△13.4
6月	68,395	74,295	8.6
7月	111,158	119,051	7.1
8月	165,418	136,789	△17.3
9月	196,699	161,477	△17.9
10月	241,023	185,782	△22.9
11月	268,120		
12月	283,872		
1月	297,093		
2月	393,920		
3月	511,697		



資料）西日本建設業保証沖縄支店「公共工事動向」
注）棒グラフは各年度の累計額、折れ線は累計比を示す

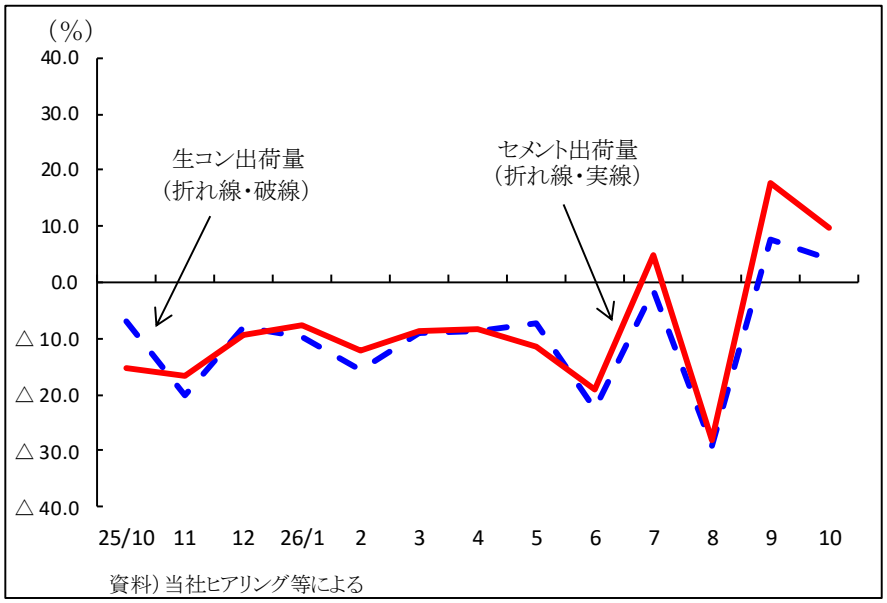
10 月の<u>公共工事請負金額</u>は、前年同月比 45.2%減の 243 億 400 万円となりました。

発注者別でみると、「国（同 76.5%減）」、「沖縄県（同 5.6%減）」、「市町村（同 7.2%減）」は前年同月を下回りました。一方で「その他公共的団体（同 3.2%増）」は前年同月を上回りました。

③ 建設資材・・・生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を上回る。

単位：前年同月比（%）

	生コン	セメント
25/10	△ 7.1	△ 15.5
11	△ 20.0	△ 16.6
12	△ 7.9	△ 9.5
26/1	△ 9.8	△ 7.5
2	△ 15.6	△ 12.1
3	△ 9.0	△ 8.6
4	△ 8.9	△ 8.5
5	△ 7.2	△ 11.5
6	△ 22.7	△ 19.2
7	△ 1.3	4.9
8	△ 29.2	△ 28.0
9	7.6	17.6
10	4.2	9.8



（注）セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

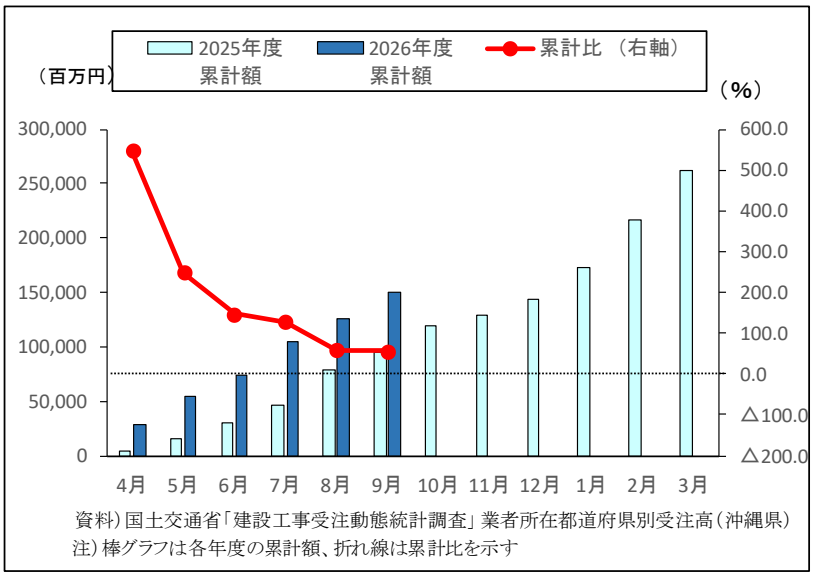
建設資材関連では、**生コン**の出荷量は前年同月比 4.2%増となりました。内訳をみると、民間工事向け（同 2.9%減）は、北部地区、中南部地区、石垣地区は減少しましたが、宮古島地区は増加しました。公共工事向け（同 7.1%増）は、北部地区、中南部地区は増加しましたが、石垣地区、宮古島地区は減少しました。

セメントの出荷量は前年同月比 9.8%増となりました。

④　【参考：９月】民間等元請受注高（年度累計）…前年同期を上回る。

単位：百万円、％

	2025年度 累計額	2026年度 累計額	累計比 （右軸）
4月	4,331	28,012	546.7
5月	15,660	54,694	249.3
6月	29,638	73,199	147.0
7月	46,399	105,570	127.5
8月	79,037	125,114	58.3
9月	95,615	150,128	57.0
10月	118,855		
11月	129,152		
12月	143,487		
1月	172,621		
2月	216,574		
3月	261,510		



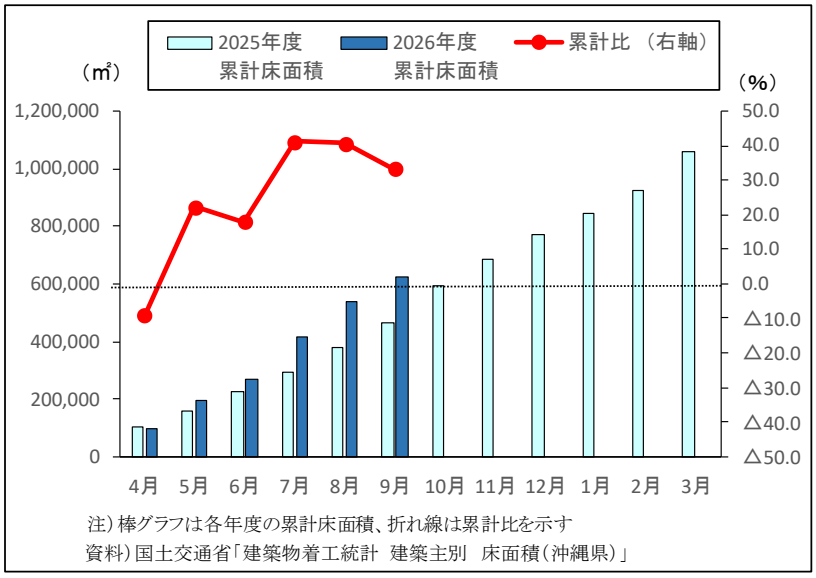
資料）国土交通省「建設工事受注動態統計調査」業者所在都道府県別受注高（沖縄県）
注）棒グラフは各年度の累計額、折れ線は累計比を示す

2026 年度累計値では、57.0％増となっています。

⑤　【参考：９月】民間着工建築物床面積（年度累計）…民間（会社＋個人）着工建築物の累計床面積は前年同期を上回る。

単位：㎡、％

	2025年度 累計床面積	2026年度 累計床面積	累計比 （右軸）
4月	105,450	95,791	△9.2
5月	159,324	194,823	22.3
6月	225,447	265,706	17.9
7月	295,438	416,836	41.1
8月	381,778	536,820	40.6
9月	466,907	621,972	33.2
10月	594,404		
11月	682,315		
12月	770,299		
1月	843,419		
2月	924,574		
3月	1,058,925		



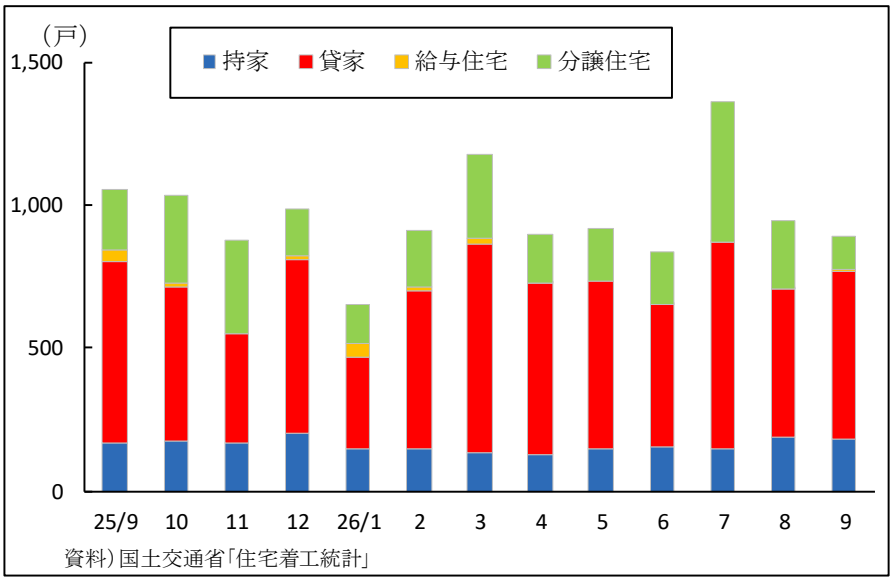
注）棒グラフは各年度の累計床面積、折れ線は累計比を示す
資料）国土交通省「建築物着工統計　建築主別　床面積（沖縄県）」

2026 年度累計値では、33.2％増となっています。

⑥　【参考：９月】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。

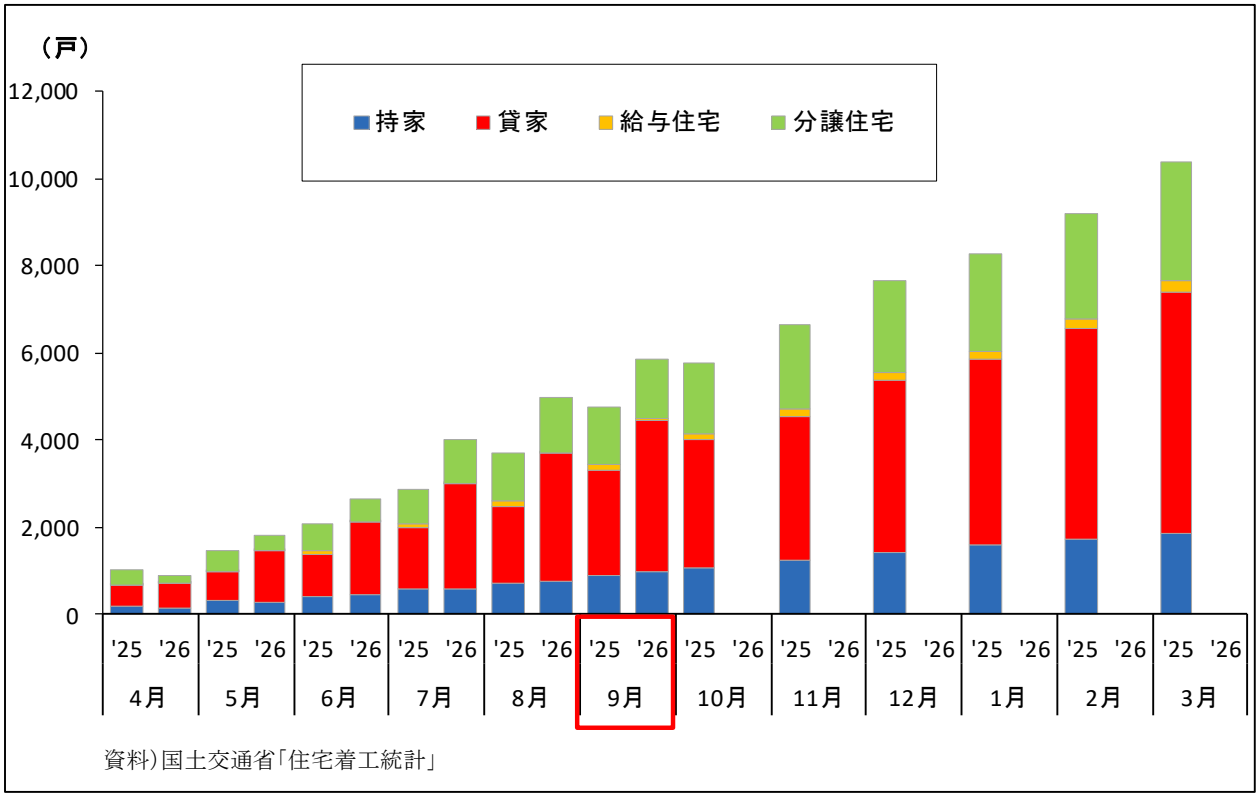
単位:戸、％

	着工戸数	前年同月比
25/9	1,055	30.2
10	1,035	14.2
11	875	14.2
12	988	15.2
26/1	650	24.5
2	915	51.2
3	1,177	1.9
4	901	△12.9
5	918	126.1
6	839	30.3
7	1,365	74.8
8	945	15.8
9	889	△15.7



9月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 15.7％減の 889 戸となり、前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同 45.8％減)」、「貸家（同 8.1％減）」、「給与住宅（同 94.3％減）」は前年同月を下回りました。一方で「持家（同 10.2％増）」は前年同月を上回りました。

⑦　【参考：９月】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



2026 年度累計値では、前年同期比 27.3％増となっています。

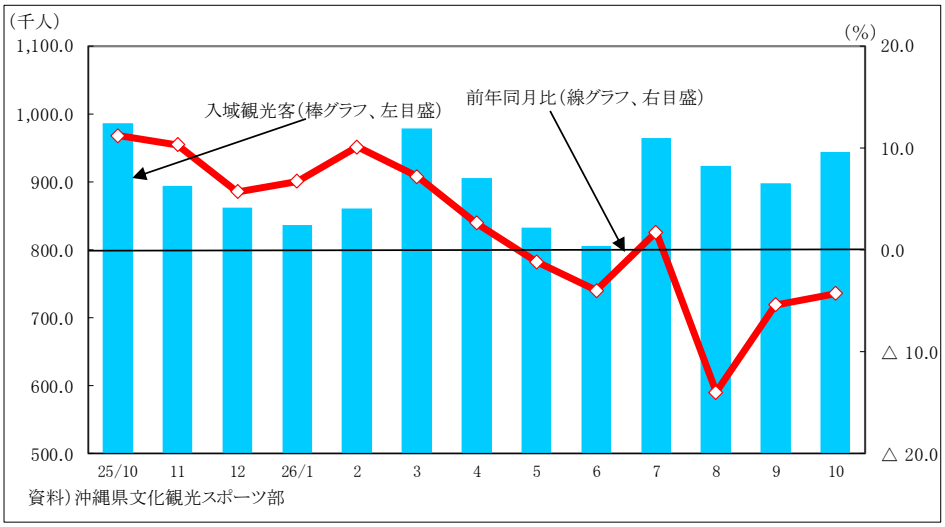
■観光関連：　（良い）

① 入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を下回る。

単位：千人、％

	入域観光客	前年同月比
25/10	985.8	11.2
11	894.5	10.3
12	862.6	5.7
26/1	835.8	6.7
2	860.2	10.1
3	978.3	7.2
4	905.5	2.6
5	832.5	△ 1.2
6	805.7	△ 4.0
7	963.9	1.7
8	923.9	△ 14.0
9	897.7	△ 5.4
10	943.6	△ 4.3

※外国客は乗務員等を含む

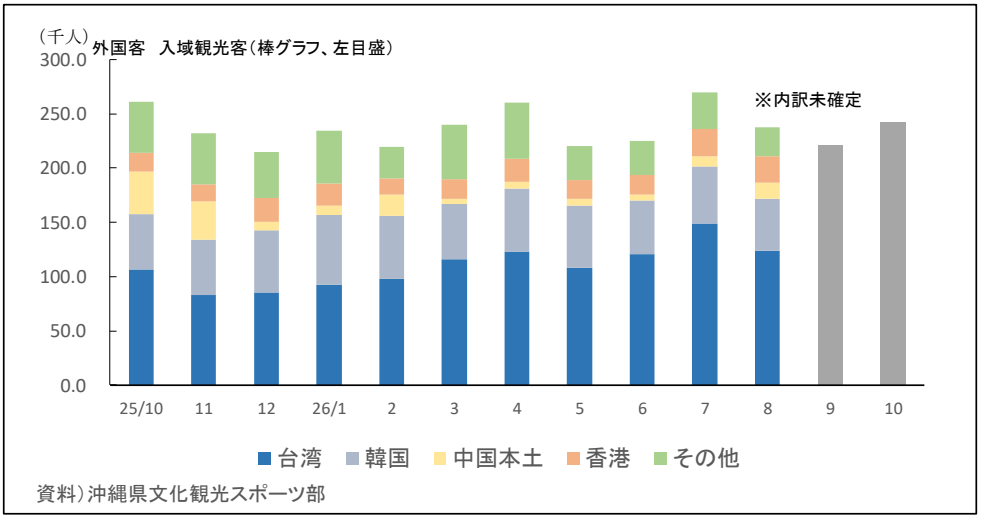


外国客入域観光客数・・・前年同月を下回る。

単位：千人、％

	入域観光客	前年同月比
25/10	260.9	35.6
11	231.7	32.9
12	214.6	5.1
26/1	234.7	8.3
2	219.3	25.3
3	239.9	22.1
4	259.9	△ 0.7
5	220.3	△ 8.8
6	224.6	△ 6.1
7	270.0	10.9
8	237.5	△ 18.5
9	221.4	△ 15.8
10	242.5	△ 7.1

※外国客は乗務員等を含む
※前年同月比はグラフへの反映はなし。



10 月の入域観光客数は、台風接近に伴う影響などにより、943,600 人（前年同月比 4.3％減）となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

外国人観光客は 242,500 人（同 7.1％減）となり前年同月を下回りました。内訳は、空路 195,300 人（同 7.5％増）、海路 47,200 人（同 40.4％減）となりました。

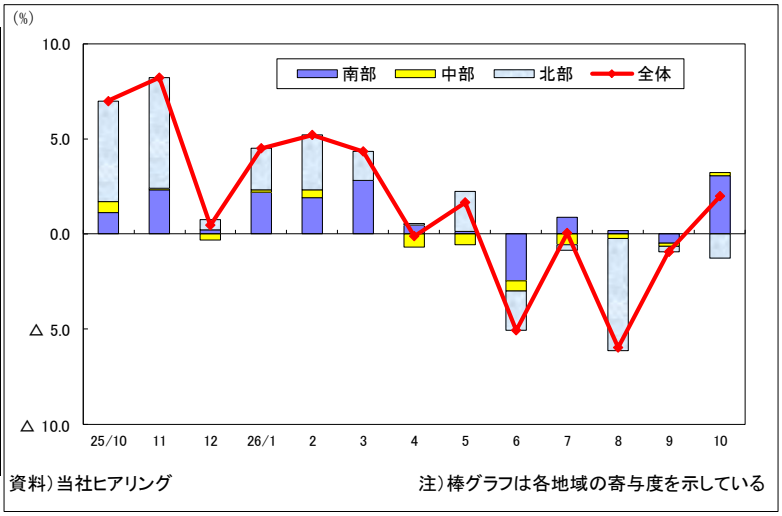
② 観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位：%

	入場者数（前年同月比）			
	全体	南部	中部	北部
25/10	7.0	3.0	6.9	9.9
11	8.2	5.2	1.2	12.3
12	0.5	0.6	△ 3.0	1.1
26/1	4.5	5.5	1.3	4.4
2	5.2	4.8	4.8	5.6
3	4.3	7.3	0.0	2.9
4	△ 0.1	1.2	△ 8.5	0.2
5	1.0	△ 1.4	△ 7.3	4.1
6	△ 5.0	△ 5.8	△ 7.3	△4.0
7	0.0	2.6	△ 8.9	△0.5
8	△ 6.0	0.5	△ 2.9	△10.1
9	△ 0.9	△ 1.3	△ 2.7	△0.5
10	2.0	8.3	2.2	△2.3

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。



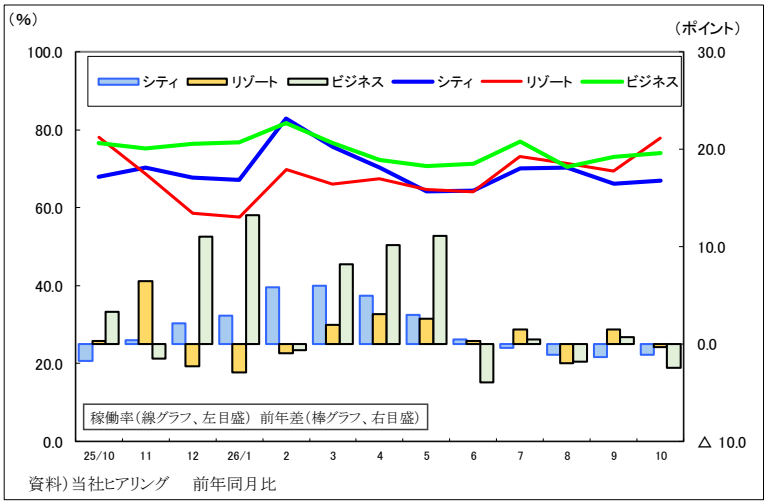
10 月の**観光施設入場者数**は、2.0%増と3か月ぶりに前年同月を上回りました。地域別でみると、南部の観光施設は 8.3%増、中部は 2.2%増、北部は 2.3%減となりました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月を下回る。

単位：%、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
25/10	68.0	78.1	76.5	△ 1.7	0.3	3.3
11	70.3	68.7	75.2	0.4	6.5	△ 1.5
12	67.8	58.6	76.4	2.1	△ 2.3	11.0
26/1	67.1	57.5	76.8	2.9	△ 2.9	13.2
2	82.9	69.8	81.6	5.8	△ 0.9	△ 0.6
3	75.5	66.1	76.6	6.0	2.0	8.2
4	70.3	67.4	72.2	5.0	3.1	10.2
5	64.2	64.7	70.7	3.0	2.6	11.1
6	64.4	64.1	71.3	0.5	0.3	△ 3.9
7	70.1	73.1	77.0	△ 0.4	1.5	0.5
8	70.3	71.3	70.5	△ 1.1	△ 2.0	△ 1.8
9	66.1	69.3	73.1	△ 1.3	1.5	0.7
10	66.9	77.8	74.1	△ 1.1	△ 0.3	△ 2.4

注）シティ6ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。

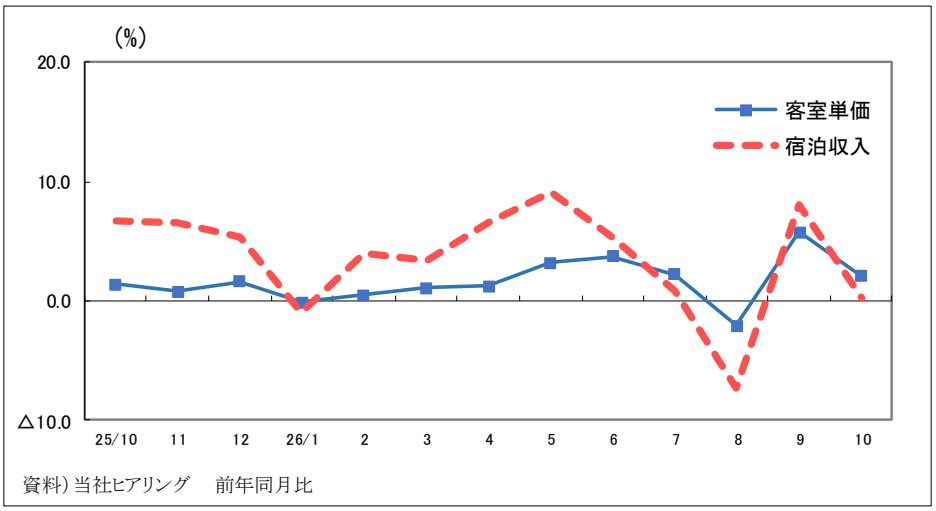


県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 1.1 ポイント減少、リゾートホテルは 0.3 ポイント減少、ビジネスホテルは 2.4 ポイント減少しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は前年同月を上回る。

単位：%

	客室単価	宿泊収入
25/10	1.4	6.6
11	0.8	6.6
12	1.6	5.3
26/1	△0.1	△1.0
2	0.5	4.0
3	1.1	3.4
4	1.2	6.5
5	3.2	9.1
6	3.7	5.4
7	2.2	0.8
8	△2.1	△7.3
9	5.8	8.0
10	2.1	0.2



※対象施設数：21施設（シティ6、リゾート15）、ビジネスは除く
※客室単価は21施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額（稼働率及び客室単価より当社推計）
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。

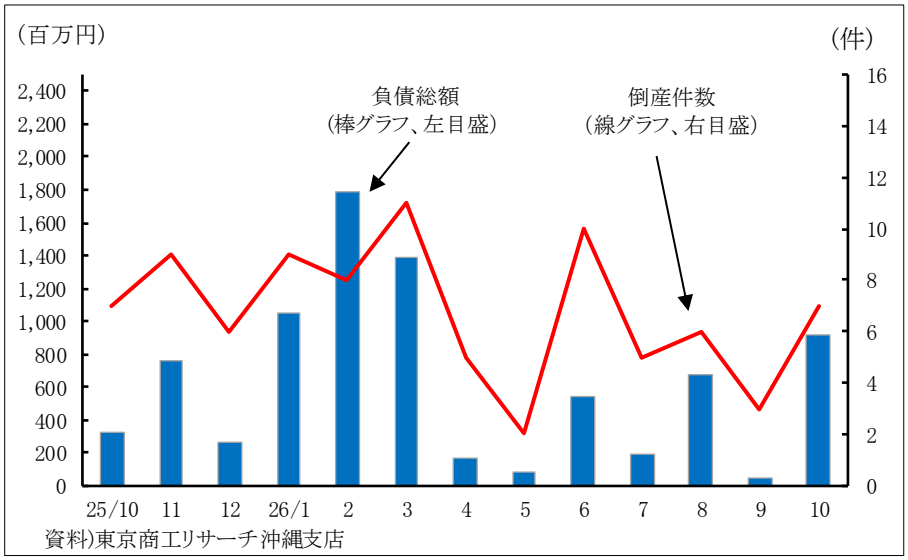
ホテル客室単価（シティ&リゾート）は 2.1%増と2ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は 0.2%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産：　（ふつう）

①　企業倒産・・・件数は前年同月と同水準、負債総額は前年同月を上回る

単位：百万円、件

	負債総額	倒産件数
25/10	328	7
11	755	9
12	265	6
26/1	1,049	9
2	1,792	8
3	1,390	11
4	161	5
5	76	2
6	536	10
7	194	5
8	680	6
9	51	3
10	921	7



注）負債総額1,000万円以上を集計対象

10 月の**企業倒産件数**は7件（うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産発生5件）となり、前年同月と同水準となりました。

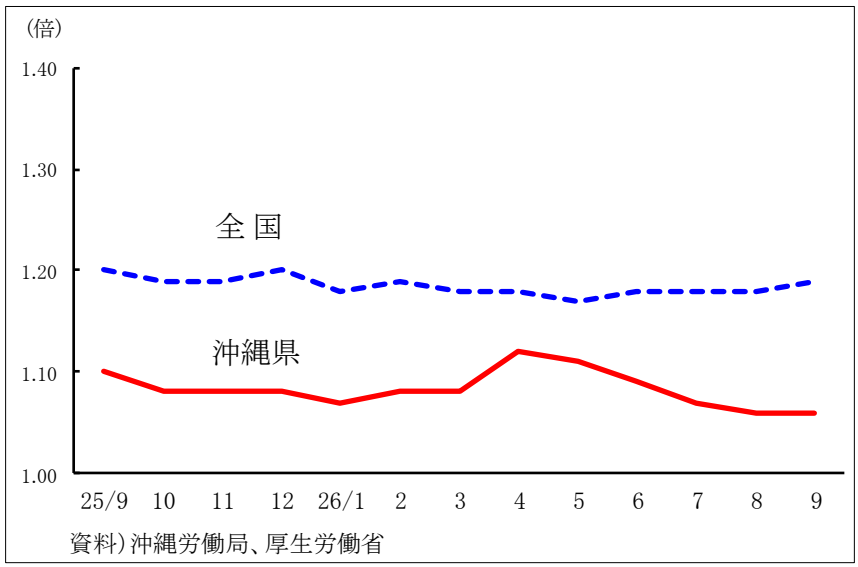
負債総額は9億 2,100 万円となり、前年同月より 180.8％増加しました。

■雇用関連：　（やや良い）

①　【参考：９月】有効求人倍率・・・沖縄は前月と同水準、全国は前月より上昇

単位:倍

	沖縄県	全　国
25/9	1.10	1.20
10	1.08	1.19
11	1.08	1.19
12	1.08	1.20
26/1	1.07	1.18
2	1.08	1.19
3	1.08	1.18
4	1.12	1.18
5	1.11	1.17
6	1.09	1.18
7	1.07	1.18
8	1.06	1.18
9	1.06	1.19



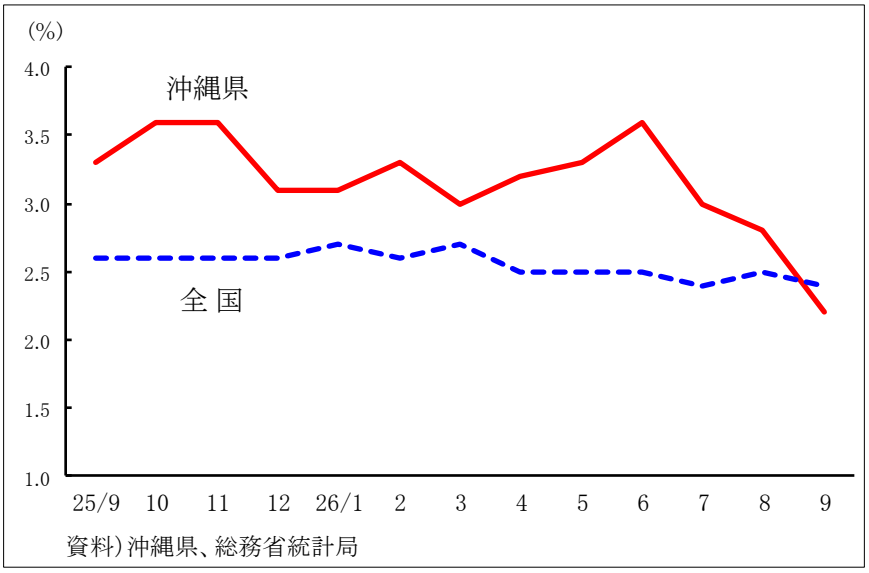
注）季節調整済
注）沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

９月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比 0.8%減の 27,463 人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比 0.9%減の 25,894 人となり、有効求人倍率（季節調整値）は 1.06 倍と、前月と同水準となりました。

②　【参考：９月】完全失業率・・・沖縄・全国ともに前月より低下

単位:%

	沖縄県	全　国
25/9	3.3	2.6
10	3.6	2.6
11	3.6	2.6
12	3.1	2.6
26/1	3.1	2.7
2	3.3	2.6
3	3.0	2.7
4	3.2	2.5
5	3.3	2.5
6	3.6	2.5
7	3.0	2.4
8	2.8	2.5
9	2.2	2.4



注）季節調整済

９月の完全失業率(季節調整値) は 2.2%となり、前月より 0.6 ポイント低下しました。